

古事類苑

動物部 十三

蟲上

蟲ハムシト云フ、産ノ義ニシテ、生化ノ多キヨリ此名アリト云ヘリ、又古ク、ハフムシトモ稱シタルハ、蟲類ノ多クハ匍匐スルモノナレバナリ、而シテ後世ノ本草書ニハ、蟲類ヲ卵生、化生、濕生等ニ分チタリ、

上代ニハ、蟲害甚ダ多カリシカバ、大祓詞ニハ昆蟲ノ災ト稱シテ、是ヲ國津罪ノ一ニ數ヘタリ、又蝗害ノ事モ既ニ神代ニ見エタリ、

我國養蠶ノ事ハ、天照大神ノ始メ給フ所ニシテ、古來國産ノ一トシテ、最モ重ンゼラル、事ハ産業部養蠶篇ニ詳ナリ、

後世松虫、鈴虫、促織、蟋蟀等ノ鳴聲ヲ愛スルモノ漸ク多ク、聽蟲撰蟲、放蟲等ノ事、上下風流者ノ間ニ行ハル、而シテ此等ノ昆蟲ヲ飼育スル事モ夙クヨリ之レアリシモノ、如シ、

蟲類中、蛇ニ關スル事蹟最モ繁多ナリ、是レ其害毒夥シク、且ツ其性モ亦獯惡ニシテ、一種ノ靈異ヲ有スルモノト信ゼラレタルニ由ルナリ、

〔倭名類聚抄十九〕蟲十九 爾雅云、有足、謂之蟲除忠、無足、謂之豸池爾反、上聲之重、唐韻云、虫與蟲通用、和名無之、鱗介、摠名也。

〔箋注倭名類聚抄八名〕按說文云、蟲有足、謂之蟲、無足、謂之豸、徐音直弓切、又云虫一名蝮、博三寸、首

蟲總載  
名稱